

## ●一斉学習 ■教師説明型

横浜市立洋光台第一中学校  
荒井 韶子

実践タイトル プレゼンテーションソフトウェアで色相の明度を説明する

## 主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

## PC

- 1年次に学習した色彩の復習を資料を提示し問答することで、知識の定着を図る。

## PC教材

- プレゼンテーションソフトウェアで、カラーの資料をグレースケールの色調にして、明度をわかりやすく説明する。

## 参考にしてほしいポイント

- 1年次の復習を、プレゼンテーションソフトウェアと問答で、フラッシュカードのように進めることができる。
- カラーの資料を白黒画像にすることで、目でわかりやすく「明度」の意味を理解することができる。

## 本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)		主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーションソフトウェアを用いて、色相環や色を2種組み合わせたりした資料を提示し、1年次の学習の復習をする。色相環を白黒画像にした場合を提示することで、色と明度の関係を確認する。</li> <li>学習課題を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板</li> <li>・自作PC教材（プレゼンテーションソフトウェア）（写真1）</li> </ul>
	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動スライドショーで、何度も確認することができるようになる。</li> </ul>	
展開	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に色鉛筆を使い、ワークシートの立方体を、明度差のある配色で塗り分けていく。</li> <li>自分の配色の明度について、また、光の方向について説明できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクリーン・実物投影機</li> <li>・生徒が記入したワークシートの静止画（写真2）</li> </ul>
	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>途中、実物投影機で他の人の進み具合を共有する。</li> </ul>	
まとめ	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>座席に戻り、全体で課題が達成できたかの共有をする。</li> <li>他の人がどんな配色をしたのかを共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクリーン・実物投影機</li> <li>・生徒が記入したワークシートの静止画（写真3）</li> </ul>
	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>次回の予告、自分の作品でも同じように配色を考えていくということを把握する。</li> </ul>	



写真1: 色相環での復習を行う



写真2: スクリーンのスライドショーで確認しながら、作業を進める



写真3: 他の人の配色を共有する

## ICT活用への児童生徒の反応等

- カラー画像を白黒コピーしたら…という発想を沸き起こすような資料提供になった。
- 作業中に確認したいことを、自動スライドショーで確認することができた。
- 色相環などの資料を一問一答できるように用意したので、テンポよく復習をすることができた。

## 活用効果

## 評価の観点

- 発想や構想の能力

## 具体的変容

- 3種類の立方体を、光の効果や背景との組み合わせを考えて構成することができた。

## 実践の手応え

- 明度という尺度を考える際に、「白黒コピーをしたときを想像する」というキーワードをもとに説明しつつ、実際に同じものを白黒画像で見せることで、視覚に効果的な説明をすることができた。